
第 397 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2020 年 6 月 12 日(金) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 創立 30 年記念棟 3 階大会議室(常念岳)

演 者: 岡田 弥生 氏(岡田やよい歯科健診クリニック院長)

賢い歯科医療消費者に

歯を大切にしてほしい、「歯を抜かれた」と言わせたくないが原点。保健所で住民の多くが「胃をとられた」と言わないのに「歯を抜かれた」と言うのを耳にした。歯を他の臓器に比べて蔑ろにしているのではないか。自身の歯に対する冒瀆ではないか。

30 年前には、医学書に加齢現象の一つとして「歯の喪失」が挙げられていたのだから、一般的な市民感覚として「齢をとれば歯は自然に抜けるもの」と思うのは仕方なかったのかもしれない。8020 も杉並区を中心とした保健所歯科医仲間で 8010(80 歳で歯の喪失を 10 本以内に)と言い始めた頃は不評だったが、日本歯科医師会が 8020 にして全国に広がった。30 年で老年医学も老年歯科医学も大きく変化した。今や健康長寿における歯の大切さは社会常識となっている。しかし、納得・満足の歯科治療か、まだ心許ない。

より良い医療を目指す「ささえあい医療人権センター COML (Consumer Organization for Medicine and Law)」の「賢い医療消費者に」と、医療を消費者の目でとらえ、患者側からの働きかけ次第で医療が良くなるという活動を歯科医療でも取り入れたいと思った。「いのちの主人公・からだの責任者」として、歯も他の臓器と同じくらいの意識を持ってほしいと思う。医療の限界と不確実性があることを知った上で、納得して通院してほしい。自分に合った良い歯科医院を見つけて上手に付き合っていてほしい。受け手の側からより良い歯科医療を考え、医師・患者のギャップを埋めるコミュニケーションを考えたい。

歯だけが良くなることはない。草の根歯科研究会では職種を越えての勉強会、歯科患者塾に加えて、COML の病院探検隊の歯科版として「歯医者さん探検隊」を続けてきた。しかし、「賢い歯科医療消費者に」の活動は、まだまだ摸索中である。歯科医療消費者というより「歯医者さん応援団」を増やすことができると考えている。

*Matsumoto Dental University
Graduate School of Oral Medicine*

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,
Nagano 399-0781, Japan

プロフィール

1954 年愛知県生まれ。愛知県立岡崎高等学校、東京医科歯科大学歯学部、名古屋大学医学部大学院(口腔外科学専攻)卒業。医科歯科大障害者歯科治療部を経て杉並区入区。保健センターの現場で 25 年勤務後早期退職し、岡田やよい歯科健診クリニック開設。歯科医師、医学博士。

著書「おいしく・生きる」(文芸社)、「高齢者の口腔ケア」(一橋出版)、「むし歯って みかけば とまるんだヨ」(梨の木舎)「シニアのための口腔ケア いつでもどこでもブクブクうがい」(梨の木舎)

担当:硬組織疾患制御再建学講座 宇田川 信之